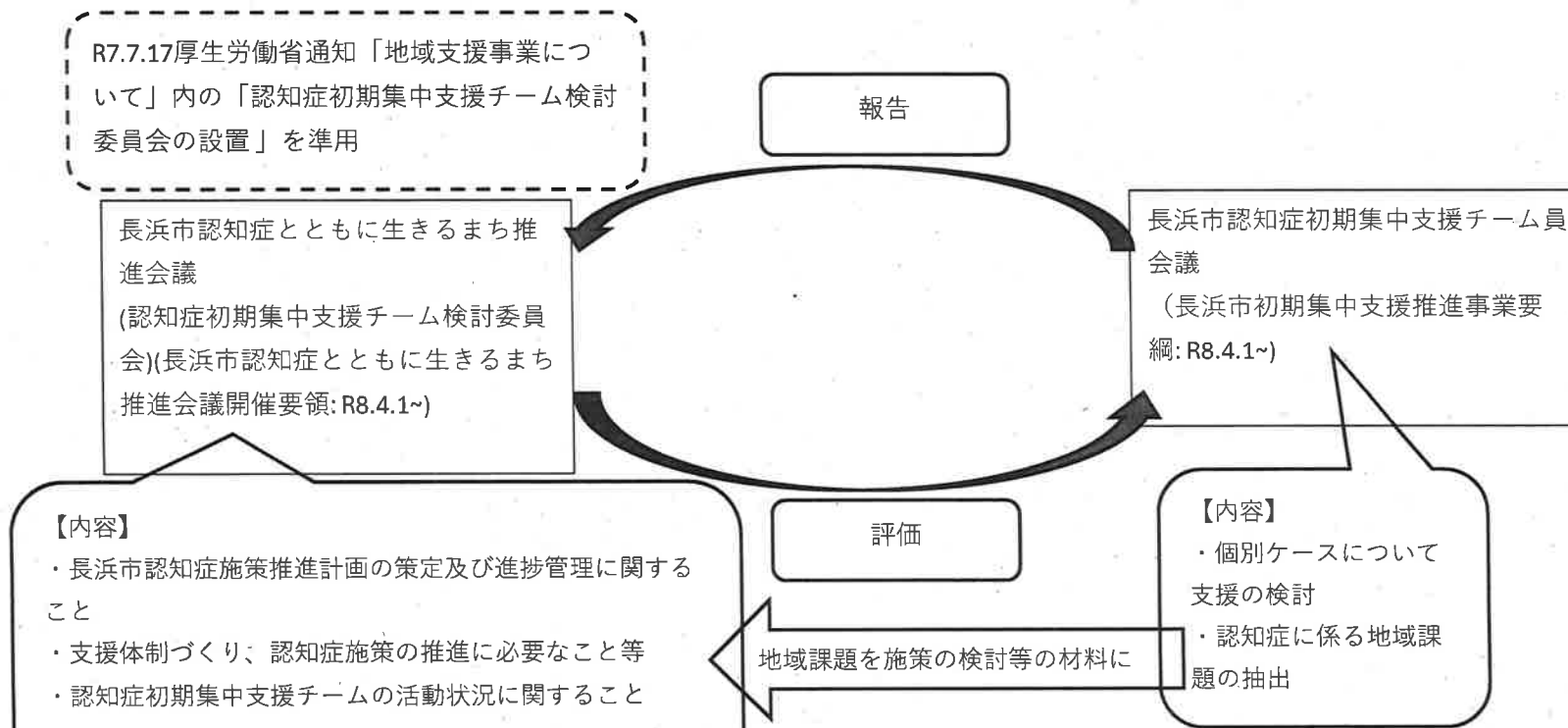


會議資料

(① ~ ⑩)

長浜市 認知症施策の推進にかかる会議体のイメージ図（R8年度～）



◎「認知症ととともに生きるまち推進会議」と「認知症初期集中支援チーム員会議」の両輪で、「認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるまち」の推進に向けた検討を行っていく。

(参考) 認知症初期集中支援チームについて 資料②

【目的】

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的とする。

【認知症初期集中支援チームとは】

複数の専門職が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的（おおむね6ヶ月）に行い、自立生活のサポートを行うチームをいう。

配置場所

地域包括支援センター等

診療所、病院
認知症疾患医療センター
市町村の本庁

認知症初期集中支援チームのメンバー



【対象者】

40歳以上で、在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる人又は認知症の人で以下のいずれかの基準に該当する人とする。

◆医療サービス、介護サービスを受けていない人、または中断している人で以下のいずれかに該当する人

- (ア) 認知症疾患の臨床診断を受けていない人
- (イ) 継続的な医療サービスを受けていない人
- (ウ) 適切な介護保険サービスに結び付いていない人 (エ) 診断されたが介護サービスが中断している人

◆医療サービス、介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している

令和8年度 認知症初期集中支援チーム員体制

資料③

長浜市役所
保健師 1名
看護師 1名
社会福祉士 1名

地域包括支援センター
①南長浜包括 1名
②神照郷里包括 1名
③浅井びわ虎姫包括 1名
④湖北高月包括 1名
⑤木之本余呉西浅井包括 1名

医師会
認知症サポート医
1名

作業療法士会
作業療法士2名



認知症初期集中支援チーム

認知症看護
認定看護師
等 4名

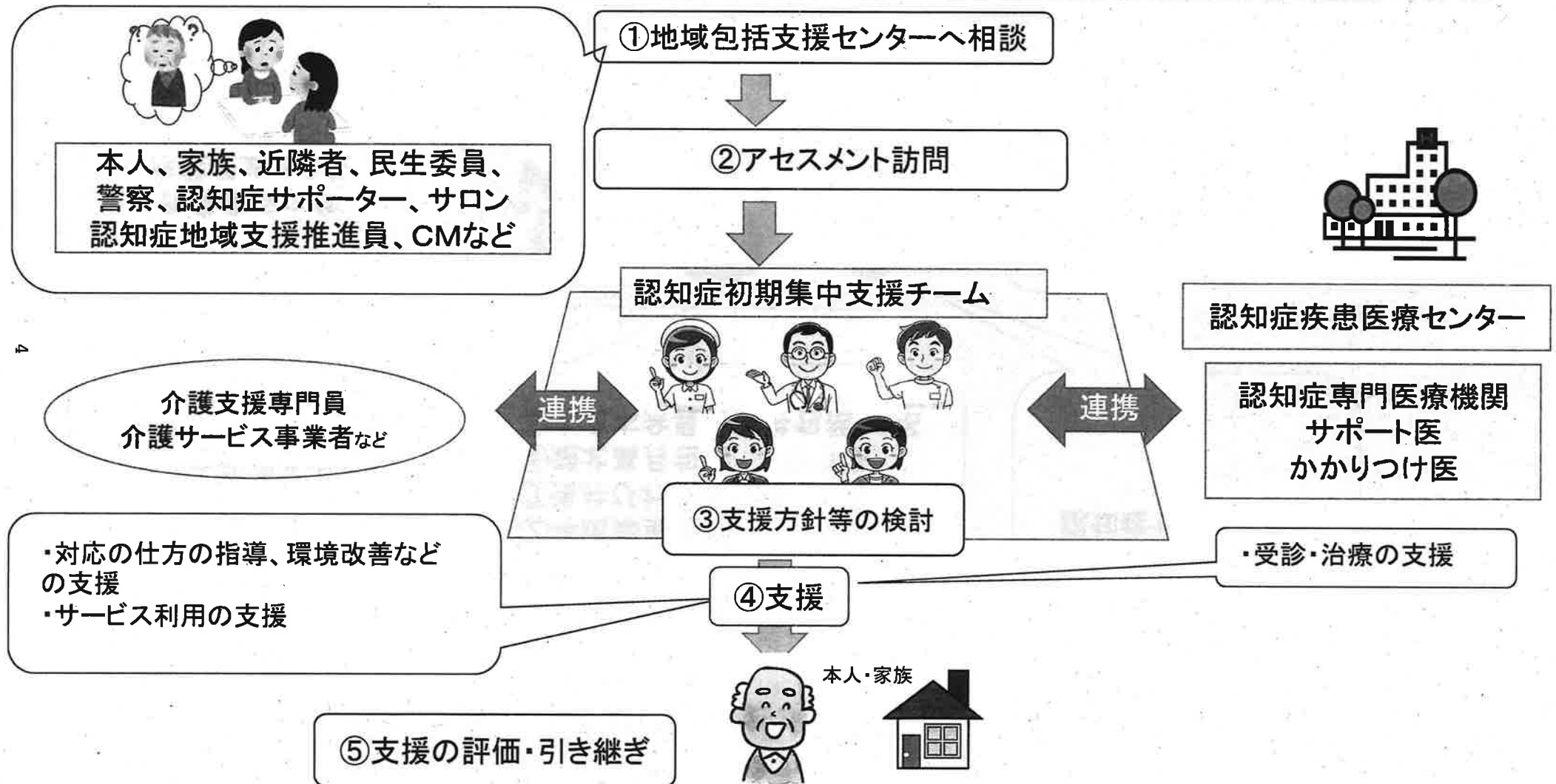
本人・家族



訪問・支援(包括中心に・状況に応じて作業療法士も同行)



令和8年度 長浜市認知症初期集中支援チーム概念図



令和7年度 長浜市認知症初期集中支援推進事業 事業結果

資料④

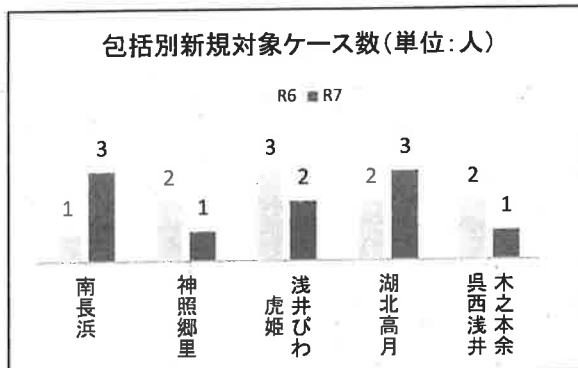
1. 地域包括支援センターでの高齢者相談の状況 (R7.4~R7.9) ※参考 (単位: 件)

	南長浜	神照郷里	浅井びわ虎姫	湖北高月	木之本余呉西浅井	合計	R5.4~R5.9
新規認知症相談(実)	36	43	28	34	54	195	250

2. 認知症初期集中支援事業 新規相談ケース数(単位: 人)

	R7	R6
相談件数(総数)	20	20
新規	10	10
評価(前年度から引継ぎ含む)	10	10

包括別新規対象ケース数(単位: 人)



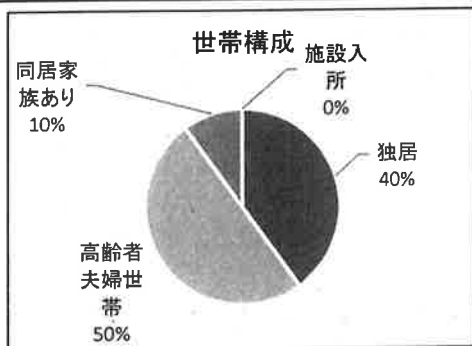
3. 新規相談ケース数 包括別(単位: 人)

	R7	R6
総数	10	10
南長浜	3	1
神照郷里	1	2
浅井びわ虎姫	2	3
湖北高月	3	2
木之本余呉西浅井	1	2

4. 新規相談ケースの状況(単位: 人)

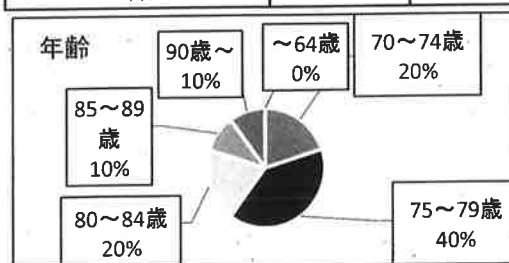
①世帯状況

	R7	R6
独居	4	6
高齢者夫婦世帯	5	4
同居家族あり	1	0
施設入所	0	0



②年齢構成

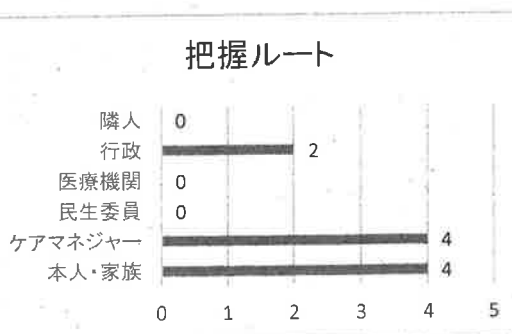
	R7	R6
~64歳	0	1
65~69歳	0	1
70~74歳	2	1
75~79歳	4	4
80~84歳	2	2
85~89歳	1	1
90歳~	1	0



③把握ルート

本人・家族	4
ケアマネジャー	4
民生委員	0
医療機関	0
行政	2
隣人	0

把握ルート



④相談内容(複数該当あり)

受診拒否	3	サービス利用	1	介護負担	8
物忘れ	1	運転免許	0	アルコール問題	1
BPSDの対応	6	近所トラブル	1	すまい	0
悪化予防	0	金銭管理	1	精神症状	1

⑤認知症自立度

I	0
II a	2
II b	4
III a	2
III b	1
不明	1

⑥医療の状況

主治医あり	8
主治医なし	2

⑦受診状況

認知症の通院あり	5
認知症以外の通院あり	3
通院なし	0
以前は通院	0
入院中	0

⑧認知症の診断

認知症の診断あり	6
診断なし	4

アルツハイマー型	5
前頭側頭型	0
脳血管性	0
レビー小体型	1
パーキンソン病	0
MCI	0
意味性認知症	0

⑨介護認定の状況

申請なし	申請中	事業対象者	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
2	2	0	0	0	5	0	0	1	0

⑩サービス利用状況

利用なし	利用中
4	6

5. 支援終了時の状況(前年度からの引継ぎケース含む評価報告をした10人の内訳)(単位:人)

①鑑別診断(専門医受診)の実施

認知症の診断にいたった	0
認知症以外の診断	0
介入時に診断済み	6
診断にいたらず	4

②介護認定状況

申請なし	申請中	事業対象者	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
1	0	0	0	0	6	2	0	1	0

③引継ぎ状況

ケアマネジャー	地域包括支援センター	HP	施設入所
8	0	0	0

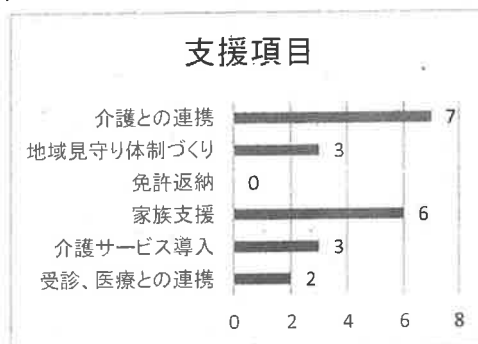
なし2

④介護サービス利用状況(複数回答)

通所介護	訪問介護	小規模多機能	グループホーム	老人保健施設	特別養護老人ホーム	訪問看護(訪問リハビリ含む)	ショートステイ
5	2	1	0	0	0	3	1

⑤支援項目(複数回答、導入に向けての助言も含む)

受診、医療との連携	2
介護サービス導入	3
家族支援	6
免許返納	0
地域見守り体制づくり	3
介護との連携	7



6. チーム員会議、訪問結果

チーム員会議	12回
延べ検討ケース数	20人

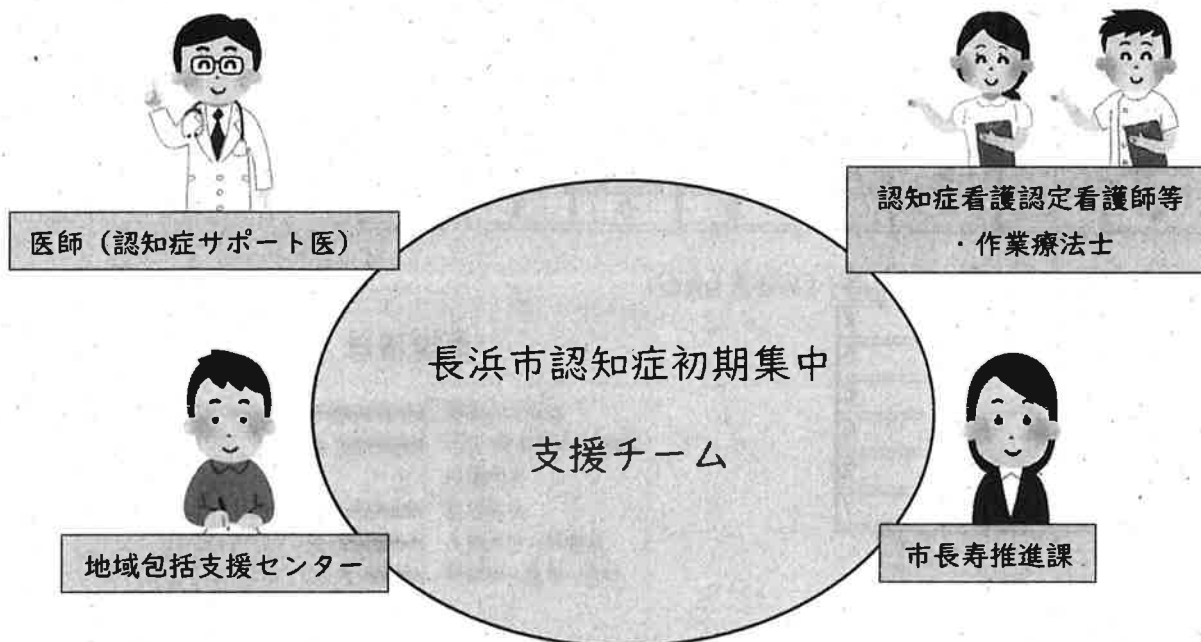
作業療法士訪問結果

1回

- ・認知症のある人への支援に悩んでいる・・・
- ・専門医への受診につなげたいけれどどうすれば・・・？
- ・家族へのアプローチ、どうすると良い・・・？



➡ 認知症初期集中支援推進事業をご活用ください！



認知症初期集中支援推進事業とは？

医療と介護の専門職から成る「認知症初期集中支援チーム」が、認知症についての困りごとや心配ごとの相談に対応します。

ご本人への対応、ご家族への支援、専門医受診へのつなぎ方等、認知症のある人を支援する中で相談したいこと、困っていること等がある際は、ぜひ本事業をご活用ください。

★本事業の利用を希望される際は、対象者のお住まいの圏域の**地域包括支援センター**までご連絡ください。

◎本事業の流れ



- ① 地域包括支援センターへ相談（家族、ケアマネジャー等から）
- ② 地域包括支援センターによる訪問
- ③ チーム員会議で支援の検討
- ④ 支援の実施（必要に応じて作業療法士等による訪問を実施）
- ⑤ チーム員会議で支援の評価（支援の振り返り）

★事業の利用にあたっての費用は無料です。

★認知症が進行している方への支援も行います。

◎本事業を活用されたケアマネジャー等からの感想（一部）



- ・専門職から方向性を示してもらうことで、支援者としての答え合わせができ、安心感を持てた。
- ・支援で悩んでいたところについて専門医の助言をもらい、腑に落ちた。
- ・各専門職から、具体的な対応方法の提案をもらえて良かった。
- ・本人について専門的に観察・評価をしてもらい、どのような対応をする
と良いか、支援の見通しが見えてきた。
- ・介護サービスにつなげることができ、本人の能力を見極めることや、コ
ミュニケーションの取り方をつかむことができるようになった。

認知症地域支援推進員

資料⑥



医療・介護等の支援ネットワーク構築

- 関係機関との連携体制の構築
- 認知症ケアパスの作成・普及 等

関係機関と連携した事業の企画・調整

- 病院・施設等における処遇困難事例の検討及び個別支援
- 効果的な介護方法などの専門的な相談支援
- 「認知症カフェ」等の開設
- 認知症多職種協働研修の実施
- 社会参加活動のための体制整備
 - ・ 市町村が適当と認めた者による農業、商品の製造・販売、食堂の運営、地域活動等の社会参加に対する支援
 - ・ 専門家を派遣する等、利用者に対する技術・専門知識の指導・助言
 - ・ マルシェ等イベントの開催支援 など
- 認知症の人と家族への一体的支援



相談支援・支援体制構築

- 認知症の人や家族等への相談支援
- 必要なサービスが認知症の人や家族に提供されるための調整



市町村

協働

認知症
地域支援推進員



【配置先】

- 地域包括支援センター
- 市町村本庁
- 認知症疾患医療センター など



【事業名】 認知症地域支援・ケア向上事業 （地域支援事業）

【目 標】 2025（令和7）年度

- ・ 認知症地域支援推進員の先進的な活動の横展開
- ・ 全認知症地域支援推進員が新任者・現任者研修を受講

地域包括支援センター 認知症地域支援推進員の活動
(令和7年度実績及び令和8年度計画)

資料⑦

南長浜地域包括支援センター	
令和7年度実績	【認知症講座「認知症のある人と共に歩む市民のつどい」の開催】 ・日時：11/15（土）14時～16時 ・場所：長浜文芸会館大ホール ・内容：認知症応援大使による講演、パネルディスカッション ・参加者数：73人 ・アンケート結果：57名が回答 有効回答率78% 講演会の内容に「大変満足した」54%「満足した」46% 「認知症に対するイメージが良い方になった」55%、「もともと悪いイメージを持っていな い」35% 【認知症月間の取組】 ・9/24（水）フレンドマート平方店頭にてチラシ配布 120部 【認知症サポーター養成講座の実施】 ・さざなみタウン認知症サポーター養成講座 18人受講 ・絵本教室 計343人受講 ・企業5社10人 その他220人受講 【認知症高齢者等見守り声かけ訓練の実施】 ・日時：9/20（土）AM ・場所：西黒田まちづくりセンター周辺 ・参加者：民生委員・自治会・地域づくり協議会・地区社会福祉協議会・CM・長浜警察署・福祉 用具業者など74人 ※7/9（水）に事前研修実施
令和8年度計画	【認知症講座「認知症のある人と共に歩む市民のつどい」の開催】 ・日時：9/12（土）13時30分～15時30分 ・場所：長浜市民交流センター ・内容：トークセッション形式（登壇者：認知症応援大使、家族介護者、認知症疾患医療セン ター相談員、認知症地域支援推進員） 【認知症月間の取組】 【認知症サポーター養成講座の実施】 ・場所：さざなみタウン ・日時：偶数月第1水曜日13時30分～15時 【認知症カフェ「ひなたかふえ」の開催】 ・場所：さざなみタウン ・日時：毎月第3木曜日 14時～16時 【認知症家族介護者交流会 「ひといきかふえ」の周知】 ・日時：6/13（土）14時～15時30分 ・場所：西部福祉ステーション ※定期的に開催予定 【認知症高齢者等見守り声かけ訓練】 ・日時：10/18（日）午前中 ・場所：八条町周辺 ・参加者：八条町自治会・民生委員など（調整中）

神照郷里長浜地域包括支援センター

令和7年度実績

【認知症講座の開催】

- ・12/6（土） 外国人サロンにてクイズ形式及びグループワークで実施。 29人で受講。
- ・スペイン語圏が主。
- ・国際交流センターが通訳で参加。
- ・滋賀医大生の講師参加。
- ・グループワークテーマ：「健康のために気を付けていること」（セルフケアの意識を高めることを目的に）

【認知症サポーター養成講座の実施】

加納町長寿会 5/10 東上坂自治会 7/16 ふれあい石田サロン 8/25 口分田町長寿クラブ
9/21 国友サロン 10/5 榎町長寿会12/7 南郷里小 6/17
北郷里小 7/11 神照小7/11 長浜北小 10/10
長浜北中 12/4 東中12/18 市役所職員向け 9/17

【認知症キャラバンメイトへの支援】

- ・「認知症の人が働ける・役割が持てる場所づくり」を目指して、12/10（水） 「あじさいカフェ」のプレを開催。
- ・認知症認定看護師からのアドバイスを参考にプレを実施した。

【認知症月間の取組】

- ・コンビニ、ドラッグストア等25店舗へ「買い物」テーマに啓発
- ・南郷里・北郷里地区 移動販売トラックと一緒に回り啓発
- ・アルプラザ平和堂での街頭啓発 9/15（祝日）チラシ・テッシュ130個・ロバ隊長作り（27個）
- ・オレンジティシャツ着用
- ・スマイル祇園薬局のなんでも相談会にてブース設置

令和8年度計画

【認知症講座の開催】

- ・わくわく健康まつりで認知症講座の開催

【認知症月間の取組】

- ・アルプラザ平和堂長浜店での街頭活動
- ・小学校・中学校で絵本教室の開催

【認知症サポーター養成講座等の実施】

- ・認知症理解の講座の開催（目標10か所）

【認知症キャラバンメイトへの支援】

- ・認知症カフェ「あじさいカフェ」の開催準備
- ・認知症キャラバンメイト新メンバーの発掘

浅井びわ虎姫地域包括支援センター	
令和7年度実績	【認知症講座の開催】 ・9/17（水）びわ地区にて地域の見守りの担い手の方（福祉の会、民生委員等）へ実施 【認知症月間の取組】 ・浅井びわ虎姫図書館での啓発 ・「やさしさ木」の提示 【認知症サポーター養成講座の実施】 ・絵本教室の実施 浅井地区：浅井小、湯田小、田根小 びわ地区：南小、北小、びわ中 虎姫地区：学園 5年生、7年生 【一人歩きのある方への支援】 ・必要な方へエアタグの無料貸し出し
令和8年度計画	【認知症講座の開催】 ・対象：浅井びわ虎姫地区 住民 ・内容：コグニサイズと認知症予防 【認知症月間の取組】 【認知症サポーター養成講座の実施】 ・浅井地区 1件 ・絵本教室の実施 浅井地区） 浅井小、湯田小、田根小 びわ地区） 北小、びわ中 虎姫地区） 学園 【一人歩きのある方への支援】 ・必要な方へエアタグの無料おためし貸し出し

湖北高月地域包括支援センター	
令和7年度実績	【認知症講座の開催】 ・10/11(土)認知症講座（介護予防） セフィロト病院：板東Drによる講演 99人参加 【認知症月間の取組】 ・施設玄関での認知症のぼり旗掲示 ・高月・湖北図書館にポスター・やさしさの木を展示 ・駅2カ所・郵便局6カ所・金融機関5カ所・医療機関6カ所・薬局5カ所・店舗4カ所へ啓発 ・企業への啓発（北おうみ自動車学校） 【認知症サポーター養成講座等の実施】 ・サポーター養成講座 5/8西阿閉、5/12朝起き会（木之本余呉西浅井包括と共催） 10/1馬渡、10/17馬上 ・絵本教室（全小中学校実施） 7/15高月小、11/28古保利小、12/5七里小、1/16富永小 9/11高月中 9/12小谷小、12/5朝日小、12/16速水小 12/10湖北中 ・10/5（日）速水認知症声掛け養成講座 【包括だよりの発行】 ・全戸配布 認知症の早期相談について啓発
令和8年度計画	【認知症講座の開催】 ・認知症講座開催8/1（土）10:00～11:30（栄養、介護予防中心） 【認知症月間の取組】 ・高月、湖北図書館ポスター展示 ・啓発先：駅2カ所、郵便局6カ所、金融機関5カ所、医療機関6カ所、薬局5カ所、店舗4カ所、北おうみ自動車学校 ・ご縁市、地連でのイベント事業参加時に啓発 【認知症サポーター養成講座等の実施】 ・サロンや出前講座での啓発 ・絵本教室（圏域小中学校全校） 【包括だよりの発行】 【その他】 ・認知症の理解・予防の啓発のため、共通の媒体を作り、啓発しやすい環境を整える ・相談内容の整理を行う ・施設玄関での認知症のぼり旗の掲示

木之本余呉西浅井地域包括支援センター	
令和7年度実績	【認知症講座の開催】 ・11/22(土)開催 ・講師：近江診療所中村Dr、湖北病院馬場看護師 ・テーマ「まちのお医者さんに聞きたい!今からできる認知症への備えとは!？」 ・受講者数：43人 【認知症月間の取組】 ・9/20（土） 平和堂木之本店で包括と認知症について街頭啓発実施。約100人包括ティッシュと包括・認知症啓発チラシ配布 ・9月中 江北図書館リブ+で包括チラシ設置 【認知症サポーター養成講座の実施】 ・9/20 池原自治会実施 14人 ・9/20 北布施自治会 24人 ・10/30木之本小学校4年 24人 ・3/12木之本中学校1年 50人 ・12/4 永原小学校6年 12人 ・11/13 西浅井中学校 27人 【包括だよりの発行】 ・自治会回覧 9月は認知症をテーマに作成
令和8年度計画	【認知症講座の開催】 ・11/28（土）「認知症と共に暮らす」をテーマに、3病院の認知症看護認定看護師を招いてパネルディスカッション 【認知症月間の取組】 【認知症サポーター養成講座の実施】 【包括だよりの発行】 ・自治会回覧 9月は認知症をテーマに作成 【その他】 ・地域専門職連携会議で自治会やサロン等に、健康維持増進や認知症の理解等について、啓発を行う。 ・湖北病院出前講座で自治会やサロン等に、健康維持増進や認知症の理解等について、啓発を行う。

長浜市認知症関連施策 令和7年度事業実績(一部抜粋)

資料8

施策の方向性	事業名	事業概要	令和7年度事業実績
1 認知症についての正しい理解のための普及・啓発の推進	認知症サポーター養成講座	認知症の正しい理解と対応を学び、そっと手助けするサポーター（応援者）を養成する啓発事業	・学校や地域の自治会の講座は各圏域の地域包括支援センターによるキャラバンメイト支援により実施。 ・認知症サポーター養成講座開催支援と認知症キャラバンメイト活動支援等を長浜市社会福祉協議会に委託（平成31年4月から） - 令和7年度 実施結果 - 小中学校…27校（32回開催）1,682人養成 - 自治会・地域団体…18回開催 493人養成 - 市民…6回開催 18人養成 - 企業等…8回開催 161人養成 ★令和7年度 サポーター養成数 2,354人 延 45,571人 ・個人で養成講座を受講したい市民向けに「認知症サポーター養成講座」を継続実施。（実施回数：6回）
	認知症キャラバンメイト活動支援事業	認知症サポーター養成講座を行う講師となるボランティアの養成や活動を支援する事業	・認知症キャラバンメイトリーダー会議（一般メイト・専門職メイト各1回開催） ・認知症キャラバンメイト研修会、交流会 - 第1回：令和7年6月30日（月） 「高齢者や認知症の方が輝く、地域とのつながり方」 - 第2回：令和7年11月10日（月） 「伝える工夫と話し方～子どもへの伝え方10のコツ～」 - 講師：夢こらぼ 主宰 松尾弥生氏 ・専門職キャラバンメイト研修会、交流会 - 令和7年6月20日（金）
	認知症理解のための研修会等啓発	一般市民に対して、認知症の理解を深めるために研修会等を通して啓発を行う	・市民の認知症に対する正しい知識と理解が深まることを目的に、令和4年度から地域包括支援センター圏域ごとの認知症講座を開催。 ※詳細は資料⑦参照
2 認知症のある人と家族等を支える取組の充実	認知症ケアパス（あんしんガイドブック）の活用普及事業	認知症の容態に応じ、適時適切なサービスの提供ができるようにサービスや社会資源を整理し、市民にわかるように情報提供を行う等の支援をする事業	・認知症ケアパス改訂・活用の推進・普及 - 令和7年度改訂「長浜市認知症とともに生きる基本条例」（令和7年3月施行）、「認知症のある人にやさしいお店認証制度」（令和7年度開始）、認知症のある方やそのご家族からのメッセージ集などの情報を掲載し、全24ページ（従来より4ページ増）に拡大。 - 一地域包括支援センターやまちづくりセンターでの配布 - 一市内図書館での設置 - 一市内ケアマネジャー、民生委員児童委員、医療機関、歯科医院、調剤薬局への配布 ・相談場面での活用 ・認知症ケアパス【電子版】を市ホームページに公開 ・電子版の周知用のポスターを作成し、冊子版配布機関に配布
	家族会の協力支援	家族会（いぶきの会、ひといきカフェ等）への協力支援	・活動の周知啓発（広報ながはま、市公式LINEにて周知） ・活動への参加による家族会との連携（地域包括支援センター職員・長寿推進課職員）

3 認知症の予防から早期発見・早期対応体制の充実	脳トレ体験事業	市民が広く認知症に関心を持てること。認知機能の低下を心配する高齢者やその家族が、高齢者の認知機能を把握し、必要な支援に繋がること。以上を実現するために脳体力チェック「CogEvo(コグエボ)」を使用し、認知機能チェックと脳トレ体験会を行う。	・市内の6か所で開催。16回の体験会で延べ170人の参加者があった。 ・参加者には認知機能チェックだけでなく、認知機能チェック結果と事前のアンケートを基に看護師から保健指導を実施。また、希望者には3か月後の再測定と再保健指導も実施した。 ・体験会の参加者はもともと認知症への関心が高い傾向にあること、また、1回の体験会で参加できる人数は最大9人であり大人数に対しては実施できないことから、啓発効果としては高いとは言えず、脳トレ体験事業は7年度にて終了した。今後は、介護予防の周知啓発の中で、認知症の予防についても周知していく。
	認知症地域支援推進員の配置	認知症施策を市と協働しながら、地域に応じた支援体制の構築の推進役となる人を配置する事業	※資料⑦参照
	認知症初期集中支援推進事業	複数の専門職が、認知症が疑われる人や認知症のある人及び家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期支援を、集中的かつ包括的に行い、自立生活をサポートする事業	・市と地域包括支援センターにチーム員を配置し協働実施 - チーム員医師:セフィロト病院 院長 松岡俊樹氏 - チーム員サポート:市内施設や病院の認知症看護認定看護師等4名、作業療法士2名 ・支援の対象者:地域包括センターに相談があった方から、必要に応じて会議で検討 - 新規事例10件 ・作業療法士訪問 1ケース ・市域の居宅介護支援事業所研修会にて活動内容を周知 ・支援対象者の担当介護支援専門員等への会議同席依頼 ※詳細は資料④参照
	認知症専門職研修会	在宅を支援する介護事業所専門職を中心に認知症についての学習を行う	・令和7年9月22日(月)市が主催する市域の居宅介護支援事業所研修会開催 「認知症のある人の思いを聞く」～当事者の視点に立ち、地域共生社会を実現していくために～ - 講師:公益社団法人認知症の人と家族の会滋賀県支部 - 世話人 森田 明彦 氏(若年性認知症当事者) - 公益社団法人認知症の人と家族の会滋賀県支部 - 副代表 奥村 幸応 氏
4 認知症のある人を含む誰もが安心して暮らせる地域づくり	認知症高齢者家族支援事業(GPS端末貸与)	位置探知端末機器を家族等に貸与し、行方不明になる可能性がある高齢者に携帯してもらうことで行方不明時に現在地を特定し早急な保護、事故防止につなぐ	・SOSほんわかネットワーク事前申請者に位置端末機器についてのチラシ及び市が行っている初期費用助成についてのチラシを配布し啓発を実施 ・貸与件数12件(令和7年度新規貸与件数5件) ・委託業者2者
	認知症高齢者等SOSほんわかネットワーク事業	認知症のある人等が行方不明となった場合に早期に発見・保護するための事業。行方不明になる可能性のある方の事前登録と行方不明の際には情報を協力者にメールで発信し早期発見につなげる	○SOSほんわかネットワークの事前登録および協力者登録の周知啓発 ・事前登録者数(延べ人数):774人 ・事前登録者数(有効者数):343人 ・令和7年度新規登録者数:80人 ・協力者登録数:9,206人 ・令和7年度メール配信:1件 ・認知症月間等の機会をとらえてのメール配信協力者の啓発実施 ・警察との連携 ○事前登録者に配布するQRコード付き「SOSほんわか見守りシール」および「見守カード」配布
	認知症高齢者等おでかけあんしん保険(個人賠償責任保険)	認知症高齢者等が日常生活における偶発的事故により第三者に対しての法律上の賠償責任を負った場合において、市が個人賠償責任保険によりこれを補償する	・加入者数:309人(うち令和7年度新規加入者:75人) ・利用実績:なし ・周知方法:市ホームページで周知を行った。 ・促進方法:SOS事前登録時にチラシ配布と加入案内を実施 - 未登録者に対して加入案内を書面で実施
	「認知症のある人にやさしいお店」認証事業	認知症を理解し、認知症のある人やそのご家族等に、優しく手を差し伸べることができるお店や事業所等を「認知症のある人にやさしいお店」として認証することで、認知症のある人とそのご家族等を支えるネットワーク体制の強化に繋げるもの	市内の「認知症のある人にやさしいお店」:18事業所 <令和7年度に新たに認証した事業所> ファーマライズ薬局 長浜七条店、有限会社 スマイルメディカル、ドラッグユタカハ 幡中山店、長浜セレモニー、地域コミュニティ・ケア研究所、長治庵、暮らしの衣料やまぐち、長浜まちづくり(株)、NPO法人CILだんない、(株)国友トータルサービス、喫茶タンポポ

ゴールドプラン10期体系(案)

◆基本理念 みんなで支え合い いきいきと暮らせる あたかな長寿福祉のまち

基本目標	施策の方向性	基本施策
① 地域のつながりで支え合い、安心して暮らせる体制の整備	1 地域で支えあう体制・ネットワークの強化	1 地域におけるネットワークの連携強化
		2 地域福祉活動の担い手の育成
		3 生活支援体制整備の推進
		4 福祉意識の醸成と広報・啓発の充実
	2 安心安全な住まい・生活環境の整備	1 高齢者の生活環境の充実
		2 災害時・緊急時の安全対策の充実
	3 地域の居場所づくり	1 地域の居場所の整備の推進
② 市民が自身の健康を意識し、生きがいを持って暮らせるまちづくり	1 高齢者の活動支援・生きがいづくり	1 社会参加の促進
	2 健康づくり、介護予防、疾病等の重症化予防の推進	1 健康づくり・介護予防の推進
		2 健康づくり・介護予防の取組への支援
		3 介護予防・日常生活支援総合事業の推進【新規】
③ 安心して暮らせる地域包括ケアシステムの推進	1 在宅生活を支えるサービスの充実	1 自立生活支援サービスの確保
		2 在宅医療・介護連携の推進
	2 相談・支援体制の強化	1 地域包括支援センターの充実
	3 高齢者の人権尊重・保護	1 権利擁護・成年後見制度の利用促進
		2 高齢者虐待の防止と対応
		3 頼れる身寄りのない高齢者等への支援体制の構築【新規】
④ 認知症のある人が共生できる地域社会の推進 「長浜市認知症 施策推進計画」	1 認知症についての正しい理解のための普及・啓発の推進	1 認知症の普及・啓発の推進
	2 認知症のある人と家族等を支える取組みの充実	1 認知症のある人や介護者への支援、社会参加推進
		2 意思決定への支援と権利利益の保護
	3 認知症の予防から早期発見・早期対応体制の充実	1 認知症予防の推進
		2 早期発見・早期対応のための相談体制の充実
	4 認知症の人を含む誰もが安心して暮らせる地域づくり	1 認知症バリアフリーのまちづくり
		2 認知症のある人の安心・安全対策
⑤ 持続可能な介護保険制度の運営	1 介護・福祉人材確保に向けた支援	1 多様な介護人材の確保
		2 介護人材の定着促進
	2 適切な介護サービスの確保	1 介護サービスの確保
		2 介護給付適正化の取組

令和7年度 認知症のある人に対するヒアリング結果【令和8年6月29日長浜市長寿推進課作成】

<実施日> 令和8年2月5日（木）14時~15時

<実施場所> 認知症対応型通所介護 長浜長寿デイサービスセンター

<実施者> 長浜市長寿推進課職員3人

<対象者> 長浜長寿デイサービスセンター利用者6人（男性1人、女性5人）

<ヒアリング方法> 面談（5人のグループ面談及び1人の個別面談）

<質問項目> ①生活の中での楽しみは何ですか？②幸せを感じる時はどんなときですか？③今後も続けていきたいことは何ですか？④今後やってみたいことはありますか？

<結果> 「デイサービスに通うのが楽しい」「おしゃべりをしている時間が楽しい」「人との輪が広がったときが幸せ」「人との交流を続けていきたい」「趣味をしている時間が楽しい」「ウォーキングを続けたい」「盆梅展に行きたい」「家族と旅行がしたい」など、4項目共通して、人との交流、趣味、外出に関わる回答が多かった。

令和7年度 認知症のある人を介護する家族に対するヒアリング結果【令和8年6月29日長浜市長寿推進課作成】

<実施日時> 令和8年1月13日（火） 13時30分~14時30分

<実施場所> 六荘まちづくりセンター

<実施者> 長浜市長寿推進課職員2人

<対象者> 湖北 認知症の人を支える家族の会「いぶきの会」参加者3人（男性2人、女性1人）

<ヒアリング方法> グループ面談（「いぶきの会」のスタッフから参加者へ質問を投げかけていただいた）

<質問項目> ①家族としての本人への思いを教えてください。②認知症のある方を介護していて、大変だったことを教えてください。③生活の中でほっとできるときはどのようなときですか？④「こんな長浜市になったら」という希望について教えてください。⑤生活の中で、「こんなことができたらな」という希望について教えてください。

<結果>

- ・介護負担の大きさを語る回答が多くあり、家族に対する易怒性の高まりや一人歩きなど、認知症の周辺症状に対する対応の負担を語る回答もあった。また、認知症の症状への対応の仕方がわからなかったという回答もあった。
- ・介護負担の軽減を図る方法や認知症の周辺症状への対応として、家族会で話をしたり、ケアマネジャー等の支援者に話をしたりするという回答や、本人に認知症があることについて近所の人へオープンに話をしておくという回答があった。
- ・「こんな長浜市になったら」という希望としては、広報誌等での周知により広く市民が認知症について理解することや、「認知症を支える男の会」（回答のまま引用）などの居場所ができること、地域でのつながりがあること、災害時への備えがあること等の回答があった。